もおかっ子をみんなで育てよう条例(案)に対するパブリックコメント結果

1. 募集期間:令和2年12月7日(月)~12月28日(月)
2. 意見の提出者:1名
3. 提案総数:14項目
4. 意見等の概要と市の考え方

	該当箇所	提出された意見提言等の内容	回答	修正の有無 修正(案)
1	全体	<p>真岡市 健康福祉部 こども家庭課 子育て支援係ご担当のみなさま 「もおかっ子をみんなで育てよう条例」(案)のとりまとめにご尽力いただきありがとうございます。 これからの真岡市の方針が決まり、各施策が目指す方向が一致することで、加速してより住みやすい真岡になって行くことを期待しています。 今回の条例は「支援を進める側」を主体としたものであることは十分わかるのですが、「支援を受ける側」の視点で表現されることで、支援される立場からも共に子どもを未来に届ける役割を共有しやすいと思いき提案をさせていただきます。 提案する上で「例」を考えましたが、その文章を使ってくださいというものではありません。 表現をご検討いただきたいということです。 またこの先「子どもの権利条例」が制定されることを望んでいます。 その際はぜひ、主体である子どもたちに参加してもらい条例がつけられることを願っています。</p>	<p>ご指摘のとおり本条例は、いわゆる「子どもの権利条例」ではなく、「施策推進型の子育て基本条例」に類するものです。よって、「支援を進める側」の視点に立った構成となっております。「支援を受ける側」である子どもの視点は、重要なことであると認識しております。今後の啓発活動の中で、子どもたち自身が考え、気付きができるものとなるよう配慮してまいります。</p>	-
2	前文	<p>《前文について》 ①『子どもたちは、未来を築く大切な存在です』 →子どもたちが自分の人生を生きることが私たちににとっての未来です。 未来を「築く」から大切なのではなく、生まれながらに未来に向かって生きて行く権利があります。「子どもたちは、これから未来を生きて行く大切な存在です。」など、子どもを主体とした表現が適切ではないでしょうか。</p>	<p>ご指摘の箇所は、本条例が子育て支援の施策推進型の条例であることから、市が策定した子どもに関する総合的な計画である「子ども・子育て支援プラン」と整合性をとった表現いたしました。</p>	修正無
3	前文	<p>②『私たちは、生まれた環境、生活状況、障がいの有無、国籍などにかかわらず、すべての子どもたちが平等に夢や希望をもち、健やかに成長してほしいと願っています。』 →子どもたちは生まれながらにこの権利を持っています。私たちが願うのは、全ての子がそのように生きる環境を用意できることです。 ここの主語は子どもたちであり、「子どもたちは、生まれた環境、生活状況、障がいの有無、国籍などにかかわらず、平等に夢や希望をもち、健やかに成長することを保障されています。」とした方が、主体が誰かはっきりするのではないのでしょうか。</p>	<p>ご指摘の箇所は、本条例が子育て支援の施策推進型の条例であることから、市が策定した子どもに関する総合的な計画である「子ども・子育て支援プラン」と整合性をとった表現いたしました。</p>	修正無

	該当箇所	提出された意見提言等の内容	回答	修正の有無 修正(案)
4	前文	③『私たちは、そのような願いのもと、様々な支援や活動を続けてきました。』 →「支援は」子どもの権利を守るためにしなくてはならない責務そのものです。 「私たちは、その環境を整えるために様々な活動を続けています。」ような表現がいいのではないのでしょうか。	ご指摘の箇所は、本条例が子育て支援の施策推進型の条例であることから、市が策定した子どもに関する総合的な計画である「子ども・子育て支援プラン」と整合性をとった表現といたしました。	修正無
5	前文	④『そこで、真岡市は、子ども・子育て支援についての…。』 →こちらも上記と同様に「子ども、子育ての環境づくりについて…。」いいのではないのでしょうか。	ご指摘の箇所は、本条例が子育て支援の施策推進型の条例であることから、市が策定した子どもに関する総合的な計画である「子ども・子育て支援プラン」と整合性をとった表現といたしました。	修正無
6	前文	⑤『未来を築くもおかつ子が…。』 →ここも前述の理由で当然の権利として「未来を生きるもおかつこ」としてはいかがででしょうか。	ご指摘の箇所は、本条例が子育て支援の施策推進型の条例であることから、市が策定した子どもに関する総合的な計画である「子ども・子育て支援プラン」と整合性をとった表現といたしました。	修正無
7	前文	⑥『…実感できるような まちの実現を目指して…。』 →「実感」するのは子どもたちなので、私たちは「ふるさと真岡を愛してほしい」、「夢や希望を持ってほしい」、「楽しさや喜びを実感してほしい」と望む側です。「実感できるような」という表現より「実感できるまちの実現」と言い切った方が、役割を担う側の意思が伝わるように思います。	文の主語となる「真岡市」と「もおかつ子」の係るそれぞれの動詞が明確となるように表現を調整するために「ような」を加えております。	修正無
8	第2条	《定義について》 ⑦『(2)保護者 親権を行う者、未成年後見人その他の者で、子どもを現に監護するものをいいます。』 →未成年後見人は、「親権」と「財産管理権」を有するようですが、この条例で使う必要はないように思います。「監護」という言葉も、子どもを管理する側という意味合いを感じます。分かりやすい表現の事例として、「明石市子ども総合支援条例」「倉敷市子ども条例」「相模原市子ども権利条例」「名古屋市子どもの権利条例」などの事例にあるように、「保護者 親及び里親その他の親に代わり子どもを養育する者をいう。」で十分ではないのでしょうか。	ご指摘の「未成年後見人」、「監護」は、子育て支援の施策推進型の他の条例でも見受けられる表現であるため、妥当であると考えます。	修正無

	該当箇所	提出された意見提言等の内容	回答	修正の有無 修正(案)
9	第3条	<p>《基本理念について》 ⑧『(3)地域社会の主体である…。』 →地域で生活する子どもたちも「主体」です。この条例で云うならば「子ども、子育てをする方」が主体であり、支援の責務がある方を主体としない方が、より当事者に寄り添ったものになるのではないのでしょうか。「地域社会で共に生活する保護者…。」としてはいかがでしょうか。</p>	<p>本条例が子育て支援の施策推進型の条例であることから、妥当な表現であると考えます。「支援を受ける側」である子どもの視点は、大切なものであると認識しております。今後の啓発活動の中で、子どもたち自身が考え、気付きができるものとなるよう配慮してまいります。</p>	修正無
10	第5条	<p>《市の責務について》 ⑨『必要な支援及び総合調整…。』 →「総合調整」、の中味が不明です。もう少し具体的にどんなことを言っているかわかる言葉に置き換えていただければありがたいです。</p>	<p>市の具体的な取り組みは、後述となりますが、第10条から14条までに「第3章 市の施策等」として記載しております。また、「総合調整」は、それぞれの取り組み主体にかかっております。</p>	修正無
11	第6条	<p>《保護者の責務について》 ⑩『第6条 保護者は、その養育する子どもの健全な育成に第1義的な責任を…。』 →「健全な育成」の基準に「最善の利益を考える」ことを加え基本理念を強調することで、虐待をしつくと云う行為の抑制につながらないでしょうか。「養育する子どもの最善の利益に基づく健全な育成に第1義的な責任を負う。」のようにしてはいかがでしょうか。</p>	<p>ご指摘のとおり、虐待の抑制につなげていくことは大切な視点であると考えます。基本理念の4項目は、本条例全体に係っているものです。さらに特定の部分を強調するために、順位を付けることは困難であるため、現行の表現のままいたします。</p>	修正無
12	第6条	<p>⑪『基本的な生活習慣及び規範意識を身に付けられるよう 努めなければなりません。』 →保護者の責務として子どもの安全な居場所としての家庭にも意識が向くように「身に付けられる家庭環境づくりに努めなければならない。」としてはいかがでしょうか。</p>	<p>ご指摘の第6条そのものが「家庭環境づくり」の内容であり、より具体的に表現している箇所であるため、現行のままいたします。</p>	修正無

	該当箇所	提出された意見提言等の内容	回答	修正の有無 修正(案)
13	第8条	<p>《学校の責務について》</p> <p>⑫『第8条 学校等は、子どもが人間性を豊かにし、…。』</p> <p>→学校は学ぶ主体である子どもたちが様々な学びに触れられる場であり、子どもの学びを第一に考える役割があると思います。「学校等は子どもが人間性を豊かにし、将来の可能性を開いていくため主体的に学べるように、地域社会と…。」のようにしてはいかががでしょうか。</p>	<p>新学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行うことで、これからの時代に求められる資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続けることができるようにすること、とされております。つきましては、ご指摘のとおり、修正させていただきます。</p>	<p>(修正案) (学校等の責務) 第8条 学校等は、子どもが人間性を豊かにし、将来の可能性を開いていくため、主体的に学べるように、地域社会と一体となって教育活動を推進するよう努めなければなりません。</p>
14	第13条	<p>⑬《切れ目のない子育て支援について》</p> <p>→支援の中には、支援を必要とする「子ども」「子育て中」である当事者が、自らに必要な支援を知り自ら課題を解決するために支援を活用することも含まれると思います。子どもは自らの権利を知り、子育て中の人は地域と共に子どもを育てられる安心を得られるような具体的な条文を加えてはいかががでしょうか。例えば「市は、子どもたちが自分は尊い存在として大切に育てられていると実感できる情報の提供及び保護者が子育てで孤立することなく支援が求められると安心できる情報の提供に努めなくてはならない」などです。</p>	<p>ご指摘の内容は大切な視点であると考えます。「子どもたちが自分は尊い存在」と感じることや、保護者が「孤立することなく安心できる」ということは、基本理念に表現されており、本条例全体に係っていることから、現行のままいたします。</p>	<p>修正無</p>